



行政視察等報告書

安来市議会議長 様

報告者 青 雲
議員 三島 静夫

この度、会派研修を行いましたので報告します。

記

期日 平成29年 1月17日 ～ 平成29年 1月18日

行先 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り
衆議院第二議員会館

日程 別紙のとおり

参加者 中島隆夫、佐伯直行、樋野智之、丸山征司、三島静夫

合計 5人

同行者 なし

視察内容 別紙のとおり

研修参加報告

(青 雲)

<研修目的>

現在、全国の自治体で危急の課題となっている公共ファシリティマネジメントについて、当市における運用のための実践方法の研究と課題の検討及びより専門的な知識を習得することを目的として研修に臨みました。

<研修概要一覧>

研修月日	研修施設	研修内容
平成 29 年 1 月 17 日	アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り	公共施設マネジメント 「拡充」から「縮充」へ機能ベースの施設再編成
1 月 18 日	アットビジネスセンター 東京駅八重洲通り	公民の役割の変化と連携 「民間化」のトレンドをつかむ
	第二議員会館会議室	平成 2 9 年度地方財政対策等について

* 地方議員研究会参加者 80 名

<研修概要報告>

1. 公共施設マネジメント 「拡充」から「縮充」へ機能ベースの施設再編成

●講 師： 東洋大学客員教授 南 学

●場 所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

●概 要：自治体が管理する交流汎用施設（プールや体育館、公民館）を例に挙げ、市民サービスを低下させず、公共施設に複合化と多機能を持たせるためにはどのような考え方で行えばよいのかを講義。

●所 感：施設の利用頻度を基準に当該公共施設の必要性や運営状況を再検討し、市民サービスを低下させることなく施設の統合、複合化また、多機能性を持たせる公共施設等総合管理計画の考え方は、斬新で感嘆出来るものであった。安来市における公共施設を、研修した見方で検討することの必要性を大いに感じ、今後の政策提言に生かしていきたい。

2. 公民の役割の変化と連携 「民間化」のトレンドをつかむ

- 講 師：東洋大学客員教授 南 学
- 場 所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り
- 概 要：今までの行政の在り方を民間感覚の考え方に置き換え行政の制度改革をどのような見方・考え方で推し進めるべきかを公共的民間施設の試み等を例に挙げた講義。
- 所 感：公共施設を民間感覚（集客・効率重視）で運営する考え方と、行政の業務転換による構造改革、公民の連携による行政サービスへの移行とそれらの評価の必要性を学ぶことができた。安来市における行財政改革の新たな考え方として大変参考になると共に、行政サイドのさらなる努力の必要性を感じ、しっかりと推し進めなければならないと考える。

3. 平成29年度地方財政対策等について

- 講 師：総務省自治財政局交付税課 理事官 進 龍太郎
- 場 所：衆議院第二議員会館5F会議室
- 概 要：平成29年度の交付税の算定における傾向と問題点を伺い今後の地方財政への対策を考察する。
- 所 感：地方財政対策の要点と普通交付税の算定基準となる基準財政需要額の項目別の考え方、公共施設の管理に係る地方債の在り方等、来年度の国の指針を伺うことができた。都市部の財政も苦しくなっていることで、地方への交付額が減少してしまう傾向にあるという現状に、安来市としても現在取り組んでいる政策や行財政改革に更なる危機感を持って臨まなければならないことを痛感しました。

以上